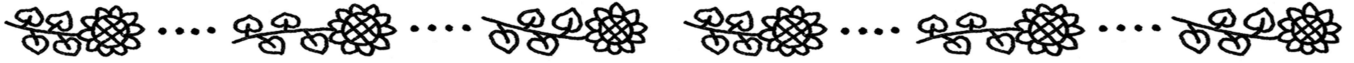




2021年度8月号

尚徳福祉会 生麦保育園

毎日部屋の窓から外を見て「またあめだ・・・」「またくもってる・・・」としょんぼり顔をしていたのが嘘のような夏がきました。子どもたちは梅雨が明けて大喜びで登園してきます。急に気温が上がったので体調の変化に気をつけて水分をこまめに摂り、健康に過ごしたいと思います。



どろんことプールあそび

夏ならではのどろんこ遊びをしました。普段は汚れを気にする子が多いぞう組ですが、どろんこ遊びができると分かるとダイナミックに泥の水溜まりを跳ねたり、泥をつけ合ったりして楽しんでいました。泥団子を作ったり、ホースで水を流して偶然できた川を見つけ、川を広げたりと想像力豊かに遊んでいる姿が沢山見られました。裸足で遊ぶことも新鮮で「いいの？はだしでほんとうにいいの？」と聞く子もいました。なかなかできない経験を園では沢山経験することも大事だなと改めて感じました。

19日のプール開きもとても楽しみにして、やっと梅雨が明けたことを子どもたちも「やっとだー！」と喜んでいました。約束事をみんなで確認し、プールに入りました。水鉄砲で保育者を的当てのようしたり、金魚すくいをしたりして楽しく過ごしました。今まで水がかかることを嫌がっていた子も今年は嫌がらずにプールあそびをしています。ワニさん泳ぎやバタ足をする子もいました。また、保育者の背中に乗ってワニさんの親子になってプール内を泳ぎました。プール後は疲れが見られるので、午睡の時間は「眠れなくてもゆっくり体を休めようね」と伝えています。

どろんこ着のお洗濯いつもありがとうございます。



えだまめ収穫と種まき

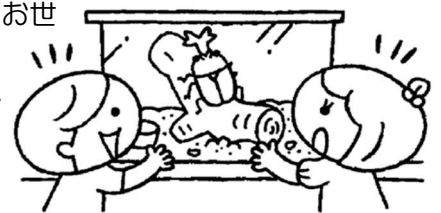
夏前に植えた枝豆が立派に育ちました。苗からできた本数が少なかったため、2人ずつで協力して収穫しました。根っこについた土をはたき「これがえだまめかあ・・・！」と感心している様子でした。枝から豆を取り、給食室で茹でていただきました。取れた量は少なかったですが、一人一つずつ枝豆の皮から豆をだして食べることができました。「あまい！」「いいにおいするね」「おまめのあじする」「はっぱのにおい」など、お友だち同士で会話が盛り上がり、採れたての枝豆は美味しかったです。これからの食育も楽しみながら行っていきます。

植物を育てることに興味を持っていて、プランターが寂しくなったので、コスモスとミニヒマワリの2種類の種を自分で決めて植えました。少しずつ発芽していく様子を観察して、興味津々な子どもたち。これからお花が咲くのが楽しみですね✿

かぶとむしの成長

前年度のぞう組から引き受けた幼虫がさなぎから成虫に成長し、虫が触れる子たちで毎日お世話しています。「ゼリー、ちゃんと食べてるかな・・・」や、成虫になる過程で羽が上手く育たなかったため「ひっくりかえったままもどれなかったらどうしよう」と毎日心配して様子を見ています。まだ名前が決まっていないので、みんなで決めたいと思います。これからもお世

話を沢山して、優しい気持ちが育ってくれるといいですね。



いつも園のことをご協力下さり、ありがとうございます。汗を沢山かいて着替えもこまめに行いますので、洋服の補充を忘れずをお願いします。